

# 国語科学習指導案（４年１組）

平成28年10月3日（月）～10月14日（金）

4年1組教室 指導者 大竹 訓子

## 1 単元名 見学したことを報告しよう

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「書くこと」の指導事項ア「関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること」・ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」を受け、伝えたいことの中心を明らかにして、読み手に分かりやすい文章を書くことをねらいとしている。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のイ（ア）「言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと」を受け、言葉を短くして伝えたい内容を示すなどの表現の工夫について指導していく。

児童は、各教科等の学習の中で、様々なことを調べたり見学したりする機会が増えている。そのような経験の中から、自分なりに関心を深めて書こうとすることを決めていくことが求められる。書くことにおいては、その場を共有しない相手を想定することが必要になることから、より一層の相手意識や目的意識が重要である。また、書くことの中心を明確にするためには、文章全体を通して自分の伝えたいことをはっきり意識することが必要である。さらに、分かりやすく伝えるために、経験した事例、絵や写真などの事物などを取り上げたて説明する力が求められている。

そこで、本単元では、単元を貫く言語活動として、「新聞記者になって、『〇〇秋の旅行新聞』を作ろう」を設定し、以下のような学習計画を設定する。①新聞見本をもとに、新聞作りについての見通しを持つ、②見学したことのメモや資料を整理し、一番伝えたいことを記事として決める、③割り付けや見出しを考え、新聞形式にまとめる、④新聞を見せながら発表し、意見を述べ合う。新聞は不特定多数あるいは特定多数の読み手に様々な情報を伝える目的として作られる。そのためには、児童は「読み手に分かりやすいように」「誤りのないように」という意識を自然と持つことになる。つまり、「伝えたいことの中心は何かを考えること」（材料の選択、見出し、割り付け）、「必要な事柄を調べて相手に分かりやすく書くこと」（取材、記述）、「文章の間違いを正したり、より良い表現に書き直したりすること」（推敲）の学習に適していると考えられる。

本単元で身に付けた力は、次単元「ミニギャラリーの解説委員になろう」で、感じたことの原因や具体例を挙げながら解説文を書く学習に生かされ、5年生で、筋道を立てて書くために事実と意見を明確に分けて書くこと、情報を整理して伝えるために構想を工夫して書くこと、などの力として高められていく。また、新聞の特徴や工夫を整理し、新聞作りの手順に沿って伝えたいことをまとめることで、調べたことを報告する一つの形式として「新聞」という表現媒体があることを理解し、今後、国語以外の教科や活動の中で活用していけると考える。

#### (2) 児童の実態及び指導方針

##### ① 実態

児童は、これまで、単元「まとまり（段落）と分かりやすさ」で、一つ一つの文を短くすることや段落を分けることなど、分かりやすい文章の書き方について学習した。段落について理解し、分かりやすい文章を書こうとする意識に高まりは見られたが、一文が長い、主語と述語の関係が正しくないなど、文章の書き方について定着が十分ではない児童も数名いる。多くの場面を捉えて繰り返し指導していく必要があると考えられる。また、単元「すじ道を立てて書く」では、ことわざについて調べ、事例や経験を挙げながら、三段構成で文章を書く活動を行った。組み立て表に書く内容を整理することで、筋道を立てて文章を構成する力を付けることができた。例示された説明文を

生かすことで、「例えば」「このように」などの表現や適切な接続語について意識し、文中で正しく使うこともできた。

事前に行ったアンケートでは、「書くこと」について「好きではない・どちらかと言えば好きではない」と答えた児童が26名のうち13名いた。児童が興味を持つような言語活動を設定し、意欲的に活動できるような工夫が必要である。新聞については、ほとんどの児童が読んだことがあり、「いろいろなことが分かる」「新しいことを知ることができる」というよさを感じている。また、小学生向けの新聞などは「漫画やイラストがあるから読みやすい」「キャラクターが話すのが良い」など、読みやすい工夫に気付いている児童も見られた。新聞作りについては、総合的な学習の時間や社会科の学習などで経験をしてきている。新聞作りの中で、「みんなに伝えられてうれしかった」「調べながら新しいことが分かった」「完成させると達成感があった」などのよさを感じている。一方、大変だったこととして、「何を書くか考えること」「資料を調べること」「たくさん文字を書くこと」を挙げている。一学期に社会科のまとめで作成した新聞では、割り付けをして記事を書くことや見出しを付けることを知ってはいるものの、適切でなかったり不十分だったりする児童が多かった。また、記事の本文では、事実（調べたこと）と自分の感想を分けて書くことのできる児童が多いが、調べたことをそのまま写していたり、伝えたい内容がはっきりしない児童も見られた。読みやすい新聞の書き方を理解したり、何を伝えたいかがはっきりする手立てが必要である。

また、以下の児童を研究に関わる抽出児童とし、授業づくりや授業評価の際に目を向けていく。

|   |   |
|---|---|
| A | <p>授業中、真面目に取り組んでいるが、学習の定着は不十分である。自分から活動を楽しんだり自分なりの考えを書いたりする姿はあまり見られず、思考を促すヒントカードや助言など、個別の言葉かけが必要である。</p> <p>前単元「すじ道を立てて書く」では、組み立て表の各カードにそれぞれの内容を書くことができた。自分の経験を書く際には、ヒントカードを見て写していた。また、グループでの活動は楽しそうに取り組み、単元全体を通して自己評価が高かった。ヒントカードや友達からのアドバイスをきっかけとすることで自分なりの活動を増やしていきたい。</p> |
| B | <p>集中する時間が短く、手遊びやおしゃべりが多い。じっくり考えることが苦手で頻繁に「分からない」「できない」と大きな声を出す。一つ一つの活動に変化を持たせ、集中を促していくことが必要である。</p> <p>前単元「すじ道を立てて書く」では、単元全体を通して大変意欲的に取り組んでおり、自己評価も高かった。一文が長く分かりづらい文になることがあるが、指摘されると素直に訂正することができた。「面白そう」「できそう」という気持ちを持たせることで、意欲的な取組を引き出した。</p>                               |
| C | <p>学習の定着が不十分であり、特に、「書く」「読む」ことについて課題がある。分からないことがあると、自信をなくし、落ち込んだような表情を見せる。本児が取り組みやすい活動をスモールステップで取り入れていくことが必要である。</p> <p>書くことに対して苦手意識が強く、前単元「すじ道を立てて書く」でも、単元全体の振り返りで「難しかったと記述し、自己評価も低かった。組み立て表の各カードにそれぞれの内容を書くことができ、友達からも分かりやすかったと賞賛されていたので、交流の機会を多く取り入れ、自信を持たせていきたい。</p>       |

## ② 指導方針

以上のような実態を受け、次のような方針で指導を進めていく。

### ア 活動全体を通して

- ・書く活動を好まない児童も意欲的に取り組めるよう、学習をスモールステップにし、一つ一つの活動で達成感を味わえるようにする。
- ・単元全体や1時間ごとのめあての表現を工夫したり、新聞記者のキャラクターを用意したりして、児童が親しみを持って活動を進められるようにする。
- ・教科書の拡大コピーや小学生向けの新聞、教師自作の新聞などを複数用意し、それぞれのよさ

から新聞の特徴をつかんだり、新聞作成時に参考にしたりできるようにする。

- ・ 単元全体の学習活動の流れや見通しが持てるように、1時間ごとの学習活動が分かる学習計画シート（「新聞作りの道シート」）を用意する。また、同じシートに振り返りを書くことで、学習の積み上げを自覚できるようにする。
- ・ 毎時間、学習活動の流れやゴールを掲示物や見本などで示しながら明確にすることで、自ら進んで学習活動に取り組むことができるようにする。
- ・ 自分の興味・関心に応じて新聞を作成できるように、一人ずつ新聞作りの活動に取り組むようにする。
- ・ 個々での作業だけでなく、相談し合ったり、良いところや改善点を伝え合ったりしながら活動できるように、ペアやグループの学習形態を積極的に取り入れ、自由に交流できる雰囲気作りをしていく。

#### イ 課題把握では

- ・ 秋の旅行で、「新聞記者の目で記事の取材をしてくる」という意識を持ち、意欲的に見学ができるよう、旅行のしおりに取材メモのページを入れるようにする。
- ・ 見てきたいことや聞きたいことについて話し合い、取材メモにまとめておくことにより、秋の旅行で課題を持って見学できるようにする。
- ・ 秋の旅行では、自分で取材したことを新聞にまとめるという意識が高まるよう、グループごとにデジタルカメラを持たせ、自分の興味のある写真を撮ることができるようにする。
- ・ 新聞見本を用意し、新聞について「読みたくなる」「分かりやすい」工夫を話し合い、「新聞のひみつ」としてまとめることで、自分の新聞作りに生かせるようにする。

#### ウ 課題追求では

- ・ 新聞記事に書く内容を決めたり、膨らませたりできるように、グループで秋の旅行で楽しかったことや驚いたこと、心に残ったことなどを自由に発表し合う時間を取り入れる。
- ・ 一つ一つの記事で、伝えたいことがはっきりするよう、一枚のカードに一つの記事を書くようにする。
- ・ 記事を書く際には、①自分で見直しをしながら進める、②友達と読み合いアドバイスをし合って進める、③先生に見てもらって進める、というコースを用意しておき、自分なりに活動しやすい方法で進められるようにする。
- ・ 見出しは、お互いの記事を読んでどんな見出しがいいか考えて交流し合うようにし、友達の考えを参考にしながらより良い表現を工夫していくようにする。
- ・ 割り付けが決まったら、一つの記事を清書する、写真を切って貼る、色ペンなどで見出しを工夫して書くなどの活動を、自分のやりやすい手順で進めるようにし、新聞を仕上げることについての意欲が持続するようにする。

#### エ まとめでは

- ・ 発表は4人グループとし、自分で作った新聞を見せながら、発表するようにする。
- ・ 相互評価カードを利用し、評価の観点に沿って聞くことができるようにする。また、良かった点や感想などは、自由記述とし、友達が新聞を通して伝えたかったことに対しての感想も書けるようにする。

### 3 研究とのかかわり

本研究では、「落ち着かない」「理解していない」「意欲がない」など気がかりな姿のある児童を含めた学級全体の児童が、「できた」「分かった」と実感し、意欲的に取り組むことを目指している。そのため、気がかりな姿のある児童からつまづきを予想して、活動や支援の工夫をしていく。具体的には、学習環境、教師の指示や学習計画の提示などを「授業の土台」として整理し活用する。また、児童の能動的な活動が促されるよう、「見る」「動く」「友達に聞く・話す」といった様々な感覚を用いて、多様な学び方を取り入れたいと考える。

研究に関わる実践1においては、見通しを持つための学習計画や見本の提示、活動が自覚しやすいワークシートの工夫、色分けやカード化の工夫など取り入れて指導を行った。その結果、児童にとって活動やその結果が分かりやすいことは、授業への参加を促すことができること、自分の感覚を生かして取り組むことは、意欲的な活動を促し、「できた」「分かった」という実感を持ちやすくなること、などが分かった。一方、書く内容に対して、自分の考えをより分かりやすく書くことができるような支援について、課題が残った。理解したことを自分なりの言葉で表出できるような工夫が必要である。

本単元では、実践1で有効であった手立てを生かし、色分けやカード化による「見る」活動、カードや付箋紙を用いた「動く」「動かす」活動、ペアやグループでの形態による「友達に聞く・話す」活動などを効果的に取り入れていく。また、新聞に書く内容の充実を図るため、次のような工夫を取り入れる。課題把握においては、新聞作りへの見通しと取材メモの工夫により、旅行での取材の意識を高める。課題追求においては、旅行での経験を伝え合う活動により、記事にする内容を決めるヒントとする。さらに、記事の内容への友達同士のアドバイスにより、より分かりやすい文にしていく。

#### 4 単元の目標

記事のまとめりごとに中心となる話題をはっきりとさせ、事例を挙げたり集めた資料を活用したりして、新聞記事を書くことで、自分の伝えたいことを分かりやすい文章に書くことができる。

#### 5 評価規準

|      |                 |  |
|------|-----------------|--|
| 評価規準 | 国語への関心・意欲・態度    | 新聞作りに関心を持ち、取材したことを読み手に分かりやすく伝わるよう工夫しながら書こうとしている。           |
|      | 書く能力            | 記事のまとめりごとに中心となる話題をはっきりとさせ、事例を挙げたり集めた資料を活用したりして、新聞記事を書いている。 |
|      | 言語についての知識・理解・技能 | 省略や倒置、名詞止めなどの表現の仕方の工夫を捉えている。                               |

#### 6 指導計画（全8時間予定）

| 過程 | 時間 | 主な学習活動  | 予想される<br>抽出児童のつまずき   | 抽出児童を含めた学級全体の児童への支援<br>(見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫)   |
|----|----|---|--|--|
| 課題 | 1  | <p>単元全体で取り入れる「授業の土台」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 黒板周り等の整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板周りの掲示物を必要最小限にし、黒板は授業のためだけに使えるようすっきりさせる。</li> </ul> </li> <li>○ 分かりやすさに留意した指示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く時と活動する時を分け、聞く時には姿勢を正すようにする。</li> <li>・ポイントを短冊に書き見やすく提示する。</li> <li>・復唱する、指さしする、など指示を確認できるようにする。</li> </ul> </li> <li>○ 活動の流れの明示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の前に、やること、使う物、注意すること、活動時間などの確認をする。</li> <li>・見本やワークシートの拡大コピーなどを提示する。</li> </ul> </li> <li>○ 板書の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや学習内容、活動の流れが見て分かるよう、整理して板書する。</li> </ul> </li> <li>○ 学習計画シートの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体について、1時間ごとのめあてや学習活動が分かるよう「新聞作りの道シート」を用意し活用する。</li> <li>・「新聞作りの道シート」に、学習計画に沿って毎時間の振り返りを書くことで、自分の取組や学習の積み上げを自覚できるようにする。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の見通しを持つ。</li> <li>・学習への見通しが持ちづらい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の学習の流れやゴールが分かりやすいよう、「新聞作りの道シート」や新聞見本を提示する。【見】</li> </ul> |

|                                   |   |  |  |  |
|-----------------------------------|---|--|--|--|
| 把握                                | 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の特徴や工夫をつかむ。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞についての知識がなく、特徴や工夫が分からない。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞見本の比較をすることで、読みやすさや分かりやすさといった点でのよさに気付けるようにする。【見】</li> <li>・見出し、写真、割り付けなどについて理解できるように、グループごとに新聞を色ペンで囲む。【見、動】</li> </ul>  |
| (秋の旅行 群馬県立自然史博物館・群馬県庁 ※学校行事でカウント) |   |  |  |  |
| 課題追求                              | 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事にする内容を決める。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を新聞の記事にしたらいいか分からない。</li> <li>・伝えたい内容がはっきりしない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の様子を話しながら取り組めるよう、旅行に一緒に行ったグループでの活動とする。【聞・話】</li> <li>・気になる記事や写真などに付箋を貼りながら資料を整理することで、伝えたいことがはっきりしていくようにする。【見、動】</li> </ul>   |
|                                   | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事を書く。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく文を書くことを意識していない。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かりやすい文のポイント」を確認し、伝えたいことを正しく書くことを意識できるようにする。【見】</li> <li>・伝えたい内容をはっきりさせて書けるように、一枚のカードに一つの記事を書くようにする。【見、動】</li> </ul>  |
|                                   | 5 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの記事を書くことに飽きてしまう。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚カードが書けたら、友達と見せ合ったり、教師に確認してもらったりしてもよいとし、気分転換したり、「一枚書けた」という実感を得たりしながら進められるようにする。【見、動、聞・話】</li> </ul>   |
|                                   | 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・割り付けや見出しを考える。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな見出しにしたらいいか分からない。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで「見出しアイデアカード（友達の記事を読み、ピッタリな見出しを考えてあげる）」を用いて交流し、そのアイデアを基に自分で決めることができるようにする。【動、聞・話】</li> </ul>   |
|                                   | 7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・清書用紙に書いて仕上げ。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの記事を書くことに飽きてしまう。</li> <li>・どう工夫したらよいか分からない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を清書する、見出しを工夫して書く、写真を切って貼るなどの活動について、自分なりの手順で進めることとし、新聞を仕上げることについての意欲が持続するようにする。【動】</li> <li>・黒板に新聞見本を掲示しておき、自由に見に来てよいこととする。【見、動】</li> <li>・他の友達の参考になるような表現や紙面の工夫などがあったら紹介し、参考にできるようにする。【見】</li> </ul> |
| まとめ                               | 8 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞を見せながら伝えたいことを発表し合う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことがはっきりしない。</li> <li>・友達の発表を集中して聞くことができない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿の型を示すことで、自分の考えをまとめ、発表しやすくなるようにする。【見】</li> <li>・相互評価カードを配付し評価の観点を確かめることで、聞く視点を持つことができるようにする。【見】</li> </ul>  |

## 7 本時の展開

【第1時】 10/3(月) ※「秋の旅行」での見学前に学習する。

### (1) ねらい

見学したことの新聞を作ることへの関心を高め、学習の見通しを持つことができる。

### (2) 準備

児童：教科書、旅行のしおり

教師：教科書、見本となる新聞（小学生向けの新聞、教師自作の新聞）、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、「新聞作りの道シート」（児童用、黒板掲示用）、短冊

### (3) 展開

|   |    |  |
|---|----|--|
| ○学習活動<br>・「 」予想する児童の意識<br>◆「 」予想する抽出児童のつまずき   | 時  | ・支援及び、指導上の留意点<br>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫  |
| ○単元や本時のめあてをつかむ。<br>・「秋の旅行は群馬県庁と自然史博物館に行くよ」  |    | ・「秋の旅行」について、日程や行く場所、楽しみにしていることなど、自由に発言することで、関心を高められるようにする。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">           単元のめあて：新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう<br/>           本時のめあて：新聞作りでは、どんな学習をするか計画を立てよう         </div> |    |  |
| ・「新聞記者か、楽しそう」<br>・「新聞作りをしたことはあるよ」<br>・「一人で書くのかな、グループで大きい紙に書くのかな」<br>◆「新聞作りは難しかったな」  | 15 | ・新聞記者のイメージを発表させ、どんなことをすると新聞ができるか意識できるようにする。<br>・これまでの新聞作りの経験を発表させることで、活動に見通しが持てるようにする。<br>・一人ずつ、自分の見てきたことや聞いてきたことなど、伝えたいことを新聞にしてまとめることを確認する。<br>★小学生向けの新聞や教師自作の新聞見本を提示し、「できそうかな」「楽しそうだな」と感じられるようにする。<br><b>【見】</b>   |
| ○学習計画を立てる。<br>◆「聞いているだけは飽きちゃう」<br>・「上手な新聞作りのポイントがあるのかな」<br>・「旅行で取材をしてくるんだ」<br>・「パンフレットや写真も必要だね」   | 10 | ・学習計画と振り返りを書くことができる「新聞作りの道シート」を配付する。<br>★一枚の短冊に一つの学習内容を書いておき、それを確認しながら拡大した「新聞作りの道シート」（掲示用には、めあてや学習することの欄を空けておく）に貼っていくようにする。 <b>【見】</b>   |
| ○秋の旅行で取材してきたいこと（見てきたいこと、聞いてみたいこと）について話し合う。<br>◆「どんな所かよく分からないな」<br>・「大きい恐竜の模型や化石があるから見てきたいな」<br>・「お土産はどんな物があるかな」<br>・「ジオラマって何か見てきたいな」<br>・「県庁からどんな景色が見えるかな」                            | 15 | ★秋の旅行で活動する児童でグループを作り、見学ルートと合わせて話し合えるようにする。 <b>【聞・話】</b><br>★事前に用意したパンフレットやインターネットで調べられる情報などをグループに配付して参考にできるようにする。 <b>【見】</b><br>・「旅行のしおり」の中の取材メモにまとめていくようにする。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             秋の旅行で見学したことを新聞にまとめることに関心を持っている。（観察・発言）           </div> |
| ○本時の学習を振り返る。<br>・「秋の旅行では、見学をきちんとしてきたい」<br>・「読みやすく楽しい新聞を作りたい」  | 5  | ・本時の学習について、新聞作りのために大事だと思ったことや、新聞作りで頑張りたいことなどを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。   |

## 秋の旅行

- ・ 行く日 十月五日
- ・ 行く場所 群馬県立自然史博物館・群馬県庁
- ・ 楽しみにしていること

## 単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう

インタビューをする。メモをする。写真を撮る。

## めあて

新聞作りでは、どんな学習をするか計画を立てよう

(「新聞作りの道シート」の拡大コピー)



秋の旅行では、よく見て聞いて、新聞で伝えたいことをしっかりと取材してこよう！

○秋の旅行で取材してきたいことを考えよう。

ふりかえり

# 「新聞作りの道シート」

名前 ( )

○単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう



| 月日 | ○めあて・学習すること   | 振り返り                         |
|----|---|------------------------------|
|    | <p>新聞作りのひみつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞作りでは、どんな学習をするか、計画を立てよう</li> <li>・秋の旅行でどんなことを取材するか考える。</li> </ul>                |                              |
|    | <p>新聞のひみつを探ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に分かりやすい書き方を知る。</li> </ul>  |                              |
|    | <p>新聞記者の目で取材！</p>   | <p>秋の旅行（群馬県立自然史博物館・群馬県庁）</p> |
|    | <p>①記事の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞記者の技 その一 「記事を決めよう」</li> <li>・どんなことを伝えたいか、はっきりさせる。</li> </ul>                      |                              |
|    | <p>②分かりやすい文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞記者の技 その二 「伝えたいことを分かりやすく書こう」</li> <li>・分かりやすい文になるよう、よく読み返しながら記事を書く。</li> </ul>   |                              |
|    | <p>③見出し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞記者の技 その三 「一目で伝わる見出しを考えよう」</li> <li>・伝えたいことがはっきり分かる言葉の使い方を工夫する。</li> </ul>           |                              |
|    | <p>④わりつけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞記者の技 その四 「わりつけを考えて清書しよう」</li> <li>・見やすいわりつけを工夫する。</li> </ul>                       |                              |
|    | <p>⑤写真や図など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞記者の技 その五 「絵や写真、図など、見やすい資料を入れて仕上げよう」</li> <li>・見やすく伝わりやすい工夫をする。</li> </ul>        |                              |
|    | <p>新聞発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞を見せながら自分の伝えたいことを発表しよう</li> <li>・伝えたいことを、はっきり話す。</li> <li>・友だちの新聞のよさに気付く。</li> </ul> |                              |



【取材メモ】

新聞記者の目で「秋の旅」取材しよう！！

# 群馬県立自然史博物館



★見てきたいこと

★聞いてきたいこと

〇〇にびっくり！！  
〇〇がすごい！！  
〇〇が楽しかった！！  
〇〇を見た！！

たくさん、伝えたいことを  
探そう！



【取材メモ】

新聞記者の目で「秋の旅行」を取材しよう！！

ぐんまけんちよう

# 「群馬県庁」

★見てきたいこと

★聞いてきたいこと



〇〇にびっくり！！  
〇〇がすごい！！  
〇〇が楽しかった！！  
〇〇を見た！！

たくさん、伝えたいことを  
探そう！



【第2時】 10/4 (火) ※「秋の旅」での見学前に学習する。

(1) ねらい

読み手に分かりやすい書き方を知ること、新聞作りについて見通しを持つことができる。

(2) 準備

児童：教科書、「新聞作りの道シート」

教師：教科書、新聞見本のコピー、短冊、発表用ボード

(3) 展開

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>○学習活動<br/>・「 」予想する児童の意識<br/>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</p>   | 時  | <p>・支援及び、指導上の留意点<br/>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</p>  |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>  |    |  |
| <p>読みたくなる！分かりやすい！「新聞のひみつ」を探ろう</p>  |    |  |
| <p>◆「新聞のひみつってどんなことか分からないな」<br/>・「文字ばかりだと読みたくないな」<br/>・「漫画がある新聞もあるね」</p>  | 5  | <p>・新聞についてのイメージが広がるよう、自由に意見を出させる。<br/>★文字ばかりの紙面、見出しが大きく書かれている紙面、写真やイラストなどが多い紙面などを紹介し、興味を持てるようにする。【見】<br/>★黒板に掲示した新聞が見やすい場所に移動するよう促す。【動】</p>  |
| <p>○読みやすく分かりやすい「新聞のひみつ」を知り、活動の見通しを持つ。<br/>◆「どこを指しているのかな」<br/>・「文字の大きさや形が違うよ」<br/>・「こっちは写真やイラストがあるね」<br/>・「いろいろな工夫があるんだな」</p> | 10 | <p>★「見出し」「写真」「絵やイラスト」「割り付け」などの押さえておきたい言葉を短冊に書き、新聞見本に貼ることで、言葉と具体例を一致できるようにする。【見】<br/>★何人かを指名し、実際に色ペンで囲ませることで、次のグループ活動に見通しが持てるようにする。【見】</p>  |
| <p>○グループごとに実際の新聞を用いて、「新聞のひみつ」を見付ける。<br/>◆「どれかなあ」<br/>・「これが見出しだよ」<br/>・「どこまでが一つの記事かなあ」</p>                                    | 15 | <p>・グループに一枚の新聞を配付し、相談しながら取り組めるようにする。【聞・話】<br/>★黒板に掲示した新聞見本と同じように、赤・青・黄色で色分けしながら囲むことで、視覚的に捉えやすいようにする。【見、動】<br/>・一枚できたグループは次の新聞を渡し、同様に組みませる。</p>   |
| <p>○全体で「新聞のひみつ」とそのよさについてまとめる。<br/>◆「よさかあ、どんなことかな」<br/>・「大きく文字が書いてあると、題名みたいで分かりやすいね」<br/>・「写真やイラストがあると、書いてあることがもっとよく分かるな」</p> | 10 | <p>・新聞見本に貼っておいた押さえておきたい言葉の短冊を移動し、どんな特徴やよさがあるか書き足していくことで、まとめとして捉えられるようにしていく。<br/>★新聞見本を比較することで、読みやすさや分かりやすさといった点でのよさに気付けるようにする。【見】</p> <p>・見出し：記事の内容がすぐ分かる短い文や言葉。読み手が「おもしろそうだな、もっと知りたいな」と思うような言葉にする。<br/>・文字の大きさや形、色など：読み手が注目するような工夫をする。<br/>・写真、絵やイラスト：記事の内容を、文だけよりも分かりやすくするものを使う。<br/>・記事の並べ方：記事をどのようにならべて書くとよいかを考える（わりつけと言う）。一つずつの記事を線でかこんで読みやすくする。</p> <p>見出し、割り付け、写真やイラストの利用、文字の工夫など、新聞の特徴について気付いている。(観察・発言)</p> |
| <p>○本時の学習を振り返る。<br/>・「分かりやすい見出しを付けたい」<br/>・「短い文で言いたいことがよく分かるように書きたい」</p>   | 5  | <p>・本時の学習について振り返り、自分の新聞作りについて生かしたいことを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。<br/>・第1時で学習した秋の旅の取材メモを提示し、「新聞記者の目」で、新聞で伝えたいと思ったことはメモしてくるよう、確認する。</p>  |

## 単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう

## めあて

読みたくなる！分かりやすい！

「新聞のひみつ」を探ろう

見出し

赤

写真

絵やイラスト

青

わりつけ

黄色

一つの記事を□でかこむ

(新聞見本の拡大コピー)

(新聞見本の拡大コピー)

## 新聞のひみつ

- ・見出し・・・
- ・文字の大きさや形、色など・・・
- ・写真、絵やイラスト・・・
- ・記事のならべ方・・・

## まとめ

新聞にはいろいろな工夫がある。だから、読みやすくなり、分かりやすい。

## ふりかえり



# 新聞のひみつ

読みたくなる！  
読みやすい！  
伝えたいことがよく分かる！



## ★見出し

記事の内ようがすぐ分かる短い文や言葉

読み手が「おもしろそうだな」「もっと知りたいな」と思うような言葉にする。

## ★文字の大きさや形、色など

読み手が注目するような工夫をする。

## ★写真、絵やイラスト


記事の内ようを、文だけよりも分かりやすくするものを使う。

## ★記事のならべ方

記事をどのようにならべて書くとよいかを考える（わりつけと書く）。

一つずつの記事を線でかこんで読みやすくする。

【第2時】 実践の様子から

| ○学習活動<br>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫   | 学級全体の様子<br>◎成果 △課題   | 抽出児童の様子<br>◎成果 △課題  |
|---|--|---|
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p> <p style="text-align: center;">読みたくなる！分かりやすい！「新聞のひみつ」を探ろう</p> <p>★文字ばかりの紙面、見出しが大きく書かれている紙面、写真やイラストなどが多い紙面などを紹介し、興味を持てるようにする。【見】</p> <p>★黒板に掲示した新聞が見やすい場所に移動するよう促す。【動】</p>       | <p>どこが違うのかな。</p> <p>写真があると分かりやすいな。</p> <p>文字ばかりで読みづらい。</p> <p>◎比較することで、読みやすさ、分かりやすさについての意識を持つことができた。</p> <p>◎教師との距離が近く、落ち着いて聞くことができた。</p> <p>◎自由な雰囲気、気付いたことを友達と話すことができた。</p> |    |
| <p>○読みやすく分かりやすい「新聞のひみつ」を知り、活動の見通しを持つ。</p> <p>★「見出し」「写真」「絵やイラスト」「割り付け」などの押さえておきたい言葉を短冊に書き、新聞見本に貼ることで、言葉と具体例を一致できるようにする。【見】</p> <p>★何人かを指名し、実際にペンで囲ませることで、次のグループ活動に見通しが持てるようにする。【見】</p>               |   | <p>◎見やすい掲示により、一つ一つの言葉を確認することができた。</p> <p>◎次に行うグループ活動のモデルにもなり、分かりやすかった。</p>  |
| <p>○グループごとに、実際の新聞を用いて、「新聞のひみつ」を見付ける。</p> <p>★黒板に掲示した新聞見本と同じように、赤・青・黄色で色分けしながら囲むことで、視覚的に捉えやすいようにする。【見、動、聞・話】</p>  | <p>(割り付け) どこまでが一つの記事かな。</p> <p>4コマ漫画もあるよ。</p> <p>◎迷う場面では友達と相談しながら進めることができた。</p> <p>◎ポイントとなる言葉を正しく用いながら次々にペンで囲んでいた。</p> <p>◎大変意欲的で、どの班も3枚・4枚の紙面について取り組むことができた。</p>            | <p>見出しってこれだよな。</p>  <p>◎A児は、最初は友達の様子を見ていたが、2枚目からは自分からペンを持ち、線で囲むことができた。</p> |
| <p>○全体で、「新聞のひみつ」とそのよさについてまとめる。</p> <p>★新聞見本を比較することで、読みやすさや分かりやすさといった点でのよさに気付けるようにする。【見】</p>   | <p>見出しは大きく書いてあった。</p> <p>写真は分かりやすいな。</p> <p>◎「新聞のひみつ」について理解し、自分の新聞でも使ってみようという意識を持つことができた。</p>  |   |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>★「新聞作りの道シート」の拡大コピーを掲示し、全体のまとめとして活用する。</p>  | <p>◎本時の活動や学習したことについて振り返って書くことで、達成感を感じるとともに、次時への意欲を持つこともできた。</p> <p>見出しや割り付けが大事だと分かった。</p> <p>新聞作りが楽しみ。</p>   |   |

【第3時】 10/6 (木)

(1) ねらい

秋の旅行の思い出を交流し合ったり、新聞に載せる記事を決めたりすることで、読み手に伝えたいことを明確にすることができる。

(2) 準備

児童：教科書、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、「新聞作りの道シート」

教師：教科書、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、写真、カード、短冊

(3) 展開

|  |           |  |
|--|-----------|--|
| <p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「 」予想する児童の意識</li> <li>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</li> </ul>  | <p>時</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援及び、指導上の留意点</li> <li>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</li> </ul>  |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p> <p style="text-align: center;"><b>新聞記者の技その1 「記事を決めよう」</b></p>  |           |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなことを書こうかな」</li> <li>◆「書くことが決まらないな」</li> </ul>   | <p>5</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>★秋の旅行について、楽しかったことを自由に発表させたり、写真を掲示したりすることで、秋の旅行の新聞作りに関心が持てるようにする。【見、聞・話】</li> <li>★教師自作の「秋の旅行新聞」を提示することで、新聞作りへの意欲が持てるようにする。【見】</li> </ul>  |
| <p>○楽しかったことや驚いたこと、心に残ったことなどを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「思い付かないなあ」</li> <li>・「自然史博物館の恐竜がとても大きかったよ」</li> <li>・「一番は県庁からの眺めだな」</li> <li>・「そうかあ、そんなこともあったな」</li> </ul>                                  | <p>15</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>★記事の内容を決める際のヒントになるよう、数名の児童に発表させ、板書しておく。【見、聞・話】</li> <li>★旅行の様子を話し合いながら取り組めるよう、旅行に一緒に行ったグループでの活動とする。【聞・話】</li> <li>★気になる記事や写真などに付箋を貼りながら資料を整理することで、伝えたいことがはっきりしていくようにする。【見、動】</li> <li>★四つ程度選ぶこととし、付箋には伝えたい思いが強い順に番号を振るよう伝える。【見、動】</li> </ul>  |
| <p>○読み手に伝えたいことを四つ程度に決め、カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「文を書くのいやだな」</li> <li>◆「たくさんあるから分からなくなっちゃう」</li> <li>・「どの資料を使おうかな」</li> <li>・「県庁から見た景色のことを紹介したい」</li> <li>・「ぐんまちゃんのことを話してくれたから、伝えたいな」</li> </ul> | <p>15</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを用意する。一枚に一つ、記事にする「伝えたいこと」の部分を簡条書きで書くようにする。また、写真やパンフレット等の切り抜きが使いたい児童には、その事も記入しておくよう促す。</li> <li>★伝えたい思いの強さで、記事の重要度として☆を塗るようにし、一番伝えたいことをはっきりできるようにする。【見】</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>秋の旅行を思い出し、自分で伝えたいことを選んで、簡条書きで書いている。(カード)</p> </div> |
| <p>○新聞を読んでもらいたい相手や内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「他の学年の子に読んでもらいたいな」</li> <li>・「おうちの人にも見せたい」</li> </ul>   | <p>5</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞作りのめあてを自分で意識できるよう、「○○に～を伝える」というような話形に当てはめて書くようにする。</li> <li>★短冊に書いて近くの友達と発表し合い、お互いの考えを認め合えるようにする。【見】</li> </ul>  |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「記事を決めることができた」</li> <li>・「伝えたいことをはっきりさせるのが大事なんだな」</li> </ul>   | <p>5</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について、大事だと思ったことや気付いたことを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。</li> </ul>  |

## 単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう

## めあて

新聞記者の技その1「記事を決めよう」



## ○学習の流れ

### ①付せんをはろう

- ・伝えたいことが写っている写真をえらぶ。
- ・伝えたい順に番号を付せんに書く。

### ②伝えたいことをことをカードに書こう

カードの拡大コピー

- ・伝えたいことの部分を書く。
- ・写真やパシフレットの切り抜きを使うか、書く。
- ・☆☆☆☆☆をぬる。

## まとめ

技1 伝えたいことをはつきりせるとよい。

## ふりかえり



この記事の重要度・・・☆☆☆☆☆ 名前 ( )

伝えたいこと

使いたい写真やパンフレット

-----

-----

-----

-----

-----

この記事の重要度・・・☆☆☆☆☆ 名前 ( )

伝えたいこと

使いたい写真やパンフレット

-----

-----

-----

-----

-----

【第4時】 10/7 (金)

(1) ねらい

旅行のしおりやパンフレットをもとに、伝えたいことを分かりやすく書くことができる。

(2) 準備

児童：教科書、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、「新聞作りの道シート」

教師：教科書、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、カード（第3時で使用したもの）

(3) 展開

|  |   |
|--|---|
| <p>○学習活動<br/>・「 」予想する児童の意識<br/>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</p>   | <p>時<br/>・支援及び、指導上の留意点<br/>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</p>   |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>  |   |
| <p style="text-align: center;">新聞記者の技その2「伝えたいことを分かりやすく書こう」</p>   |   |
| <p>・「よく思い出して書こう」<br/>・「読む人によく分かるように書きたいな」<br/>◆「分かりやすい文で、どういう風に書けばいいのかな」<br/>・「友達と相談してもいいんだね」</p>  | <p>10<br/>・本時はカードに本文を書くことを確認する。<br/>★「分かりやすい文のポイント」を確認し、伝えたいことを正しく書くことを意識できるようにする。【見】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>分かりやすい文のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語とじゅつ語を合わせる</li> <li>・一文を短くする</li> <li>・見てきたことや聞いたことを正しく書く</li> <li>・字の書き方や漢字を正しく書く</li> <li>・「です。ます。」と「だ。である。」をまぜないで分けて書く</li> </ul> </div> <p>・「より分かりやすい文にするポイント」も紹介し、伝えたいことを正しく書くことを意識できるようにする。</p>   |
| <p>○「分かりやすい文のポイント」に気を付けながら、カードに記事の下書きを書く。</p> <p>◆「どんなことを書けばいいかなあ」<br/>◆「ずっと書いているのは苦手だな」<br/>◆「書けたけど、文が短いかな」<br/>・「一枚ずつ仕上げるといいんだね」</p> <p>・「友達と読み合いをしようかな」<br/>・「友達の記事を読むのは楽しい」<br/>・「友達に直してもらえると安心する」<br/>・「一文が長いから短い方が分かりやすいよ」<br/>・「一枚オッキーをもらったよ」</p> | <p>30<br/>★書く内容を相談したり、足りない情報を補ったりできるよう、グループの形態で学習するようにする。【聞・話】<br/>★伝えたい内容をはっきりさせて書けるように、一枚のカードに一つの記事について書くようにする。【見、動】<br/>★自分が新聞に使う写真を見ながら書くことで、書く内容を考えられるようにする。【見】<br/>★「分かりやすい文のポイント」をグループに配付しておき、文を書く際や推敲する際に活用できるようにする。【見】<br/>★書き進める上で以下のようなコースを示し、文を書くのが苦手な児童も、気分転換したり、「一枚書けた」という実感を得たりしながら進められるようにする。【動、見、聞・話】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>自分でどんどん書くよ！コース<br/>自分で見直しをしながら書き進める。<br/>友達と協力し合う！コース<br/>友達と読み合い、アドバイスし合って進める。<br/>先生チェックして！コース<br/>先生に見てもらって直してもらおう。</p> </div> <p>★記事の下書きが全てできた児童は、できたほかの児童と記事を読み合い、推敲するよう促す。【見、動、聞・話】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読み手に伝えたいことを、分かりやすい文で書いている。<br/>(カード)</p> </div> |
| <p>○本時の学習を振り返る。<br/>・「県庁のことを紹介する文を書くことができた」<br/>・「きちんと読み返すと、間違いに気付くことができた」</p>   | <p>5<br/>・本時の学習について、大事だと思ったことや気付いたことを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。</p>  |

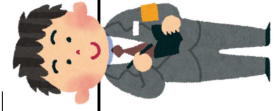
単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう

めあて

新聞記者の技その2

「伝えたいことを分かりやすく書こう」



分かりやすい文のポイント

(掲示資料)

より分かりやすい文にするポイント

(掲示資料)

(掲示資料)

自分でえらんで取り組もう

「自分でどんどん書くよ！」 コース

「友だちと協力し合おう！」 コース

「先生チェックして！」 コース

まとめ

技2 分かりやすい文になるよう、ポイントに気を付けて書く。

ふりかえり

書けたらチェックしてみよう。  
友だちにもアドバイスしてもらおう。

## 分かりやすい文のポイント

(おそべーじヨハ)

- ★主語としゅつ語をあわせる。
- ★一文を短くする。
- ★見てきたことや聞いたことを正しく書く。
- ★字の書き方(を・は・くなど)や漢字を正しく書く。
- ★「です。ます。」と「だ。である。」を混ぜないで分けて書く。



## より分かりやすい文にするポイント

(いぐルアップバージヨハ)

- ★「はじめ・中・終わり」が分かるように書く。
- ★見てきたことが伝わるように、くわしく書く。  
「〜みたい。」「〜のようでした。」などの言い方をする。
- ★聞いたことは「〇〇さんが〜とおっしゃっていました。」  
「〜と教えてくれました。」のよう書く。
- ★友だちやまわりの人の様子や言っていたことなどを書く。



(揭示資料)

# 自分でえらんで取り組もう！

どっいうやり方だと、がんばって分かりやすい文が書けるかな？

## 自分でどんどん書くよ！コース

一枚書いたら自分でよく見直しをし、次の記事を書く。

※書くのは好き！どんどん書きたい人向き



## 友だちと協力し合う！コース

一枚書いたら、友だちと読み合い、直してもらったり、アドバイスをしてもらったりする。友だちにも気付いたことを言っておげる。

※友だちに聞くと安心する！友だちの文も読みたい！人向き



## 先生チェックして！コース

先生に見てもらい、直してもらったり、アドバイスをもらったりする。

※やっぱり先生にオッケーって言われたい！人向き



大事な今日のめあては、

一つ一つの記事を、  
分かりやすい文で書くこと

【第4時】 実践の様子から

| ○学習活動<br>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫   | 学級全体の様子<br>◎成果 △課題   | 抽出児童の様子<br>◎成果 △課題   |
|---|--|--|
| ○本時のめあてをつかむ。  |  |  |
| 新聞記者の技その2 「伝えたいことを分かりやすく書こう」  |  |  |
| <p>★「分かりやすい文のポイント」を掲示し、伝えたいことがはっきりする文を書くことが意識できるようにする。【見】</p> <p>★ポイントを絞って短冊に書いて提示することで、集中して聞くことができるようにする。【見】</p>    | <p>◎本時のめあてである「分かりやすく書く」というのはどんなことか、教師が投げかけることで、ねらいに意識を向けることができた。</p> <p>◎短冊一つ一つを提示しながら読ませることで、指示内容が理解しやすくなった。また、黒板に掲示しておくことで、確認しながら進められた。</p>    | <p>分かりやすい文のポイントに気を付けて書こう。</p> <p>今日は技その2だね。がんばるぞ。</p> <p>今日書くのは赤い部分だな。</p>   |
| <p>○「分かりやすい文のポイント」に気を付けながら、カードに記事の下書きを書く。</p> <p>★書く内容を相談したり、足りない情報を補ったりできるように、グループの形態で学習するようにする。【聞・話】</p> <p>★自分が新聞に使う写真を見ながら書くことで、書く内容を考えられるようにする。【見】</p> <p>★「分かりやすい文のポイント」をグループに配付しておき、文を書く際や推敲する際などに活用できるようにする。【見】</p> <p>★書き進める上で以下のようなコースを示し、文を書くのが苦手な児童も、気分転換したり、「一枚書けた」という実感を得たりしながら進められるようにする。【動、見、聞・話】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自分でどんどん書くよ！コース<br/>友達と協力し合う！コース<br/>先生チェックして！コース</p> |  <p>◎旅行班の友達と話をしながら書くことで、詳しい内容が書けたり、伝えたいことを整理していったりすることができた。</p>  <p>◎学習を進めるコースの紹介により、「自分でどんどん書くよ」「友達に読んでもらいたいな」などのつぶやきがあり、自分なりの進め方で安心して取り組む様子が見られた。</p> | <p>A児</p> <p>◎なかなか書き出すことができなかったが、教師が写真を見ながら問いかけることで、伝えたい内容を整理し書き出すことができた。</p> <p>B児</p> <p>▲写真を見ながら友達と話すことが楽しく、なかなか下書きカードに書き出せない様子も見られた。</p> <p>◎時間や作業量の目標を個別に伝えることで、下書きを書き始めることができた。</p> <p>◎読む人が楽しくなるような表現を用いて下書きを書いた。</p> <p>◎友達に読んで聞かせたりしながら楽しそうに取り組んだ。</p> <p>C児</p> <p>◎前時で選んだ6枚の写真について、短い文ではあったが、その様子を書くことができた。</p> <p>◎「6枚書けたよ」と満足そうに友達に見せていた。</p> |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>★「新聞作りの道シート」の拡大コピーを掲示し、全体のまとめとして活用する。</p>  | <p>◎本時の活動や学習したことについて振り返って書くことで、達成感を感じるとともに、次時への意欲を持つこともできた。</p> <p>伝えたいことがカードに書けた。</p> <p>分かりやすい文の書き方が分かった。</p>  |  |

【第5時】 10/12 (水)

(1) ねらい

記事に合う見出しを考え、伝えたいことをより明確にすることができる。

(2) 準備

児童：教科書、旅行のしおり、記事の下書き、「新聞作りの道シート」

教師：教科書、旅行のしおり、パンフレットなどの資料、見出しアイデアカード、カード（前時までに使用したもの）

(3) 展開

|  |  |
|--|--|
| <p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「 」予想する児童の意識</li> <li>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</li> </ul>  | <p>時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援及び、指導上の留意点</li> <li>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</li> </ul>   |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>  |  |
| <p><b>新聞記者の技その3「一目で伝わる見出しを考えよう」</b></p>  |  |
| <p>○見出しについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「見出しって何だっけ」</li> <li>・「見出しは記事一つ一つにあるね」</li> <li>・「題名みたいだね」</li> <li>・「伝えたいことを短い言葉で言うんだね」</li> <li>◆「どんな風な見出しがいいのかなあ」</li> </ul> | <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★新聞見本の枠を掲示し、前時までに下書き（本文）ができたので、次は見出しを決めることを確認する。【見】</li> <li>★見出しが分かりやすいよう、見本の新聞を掲示して色ペンで囲み確認する。【見】</li> <li>★見出しの理解が深まるよう、いくつかの新聞を掲示し、児童が色ペンで囲めるようにする。【見・動】</li> </ul> <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しは10文字程度で書くこと、伝えたいことのが分かるように書くことなどを押さえる。</li> <li>★児童の興味を引きそうな見出しを黒板に掲示しておき、参考にできるようにする。【見】</li> </ul>                             |
| <p>○前時に書いた記事に合う見出しを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「難しそうだなあ」</li> <li>・「どんな見出しだとよく分かるかな」</li> <li>・「〇〇さんの見出しはいいな」</li> <li>・「いろいろな見出しがあって面白いな」</li> </ul>                 | <p>25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの形態で学習を行う。</li> <li>★どんな見出しにすると伝わりやすいか、いろいろな意見から練ることができるよう、友達の記事を読み「見出しアイデアカード」に書いて渡すようにする。【動、聞・話】</li> <li>・友達からのアイデアをもとに、自分で見出しを付けるようにする。</li> <li>★グループ内で発表し合うことで、多くの記事とその見出しに触れ、言葉の面白さを感じられるようにする。【聞・話】</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>記事の内容が伝わる見出しを考えている。(カード)</p> </div> |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つ一つの記事に見出しを付けることができた」</li> <li>・「短い言葉でも、工夫すると伝えたいことがはっきり分かった」</li> </ul>   | <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について、大事だと思ったことや気付いたことを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。</li> </ul>   |

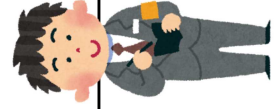
単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作る。

めあて

新聞記者の技その3

「一目で伝わる見出しを考えよう」



(新聞見本)

※見出しを色ペンで囲む。

○見つけたおススメの「見出し」

•  
•  
•

○アイデアを出し合って、見出しを決める。

見出しアイデアカードの拡大コピー

まとめ

技3 見出しは、伝えたい内容を短い言葉ではつきり表すとよい。

ふりかえり





# 見出しアイデアカード



友だちの記事を読み、ピッタリな見出しを考えてあげよう！

さんへ

・考えたのは（ ）です！

見出し

・考えたのは（ ）です！

見出し

・考えたのは（ ）です！

見出し

★みんなのアイデアを聞いたら、自分で決めてみよう！！

自分の考えた見出し



【第6・7時】 10/13 (木)

(1) ねらい

割り付けを考え、見出しや写真などを工夫して、清書用紙に書くことができる。

(2) 準備

児童：下書きカード・「新聞作りの道シート」

教師：新聞見本・清書用紙

(3) 展開

|  |  |
|--|--|
| <p>○学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「 」予想する児童の意識</li> <li>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</li> </ul>  | <p>時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援及び、指導上の留意点</li> <li>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</li> </ul>   |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>  |  |
| <p>わり付けを考え、見出しや写真など見やすい資料を入れて仕上げよう</p>   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いよいよ清書だね。」</li> <li>・「丁寧に仕上げたいな。」</li> </ul>  | <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★活動の流れを示す際に、やること、使う物、注意すること、などを明示する。【見】</li> <li>★児童が取り入れやすい工夫のしてある新聞を見本として提示し、参考にできるようにする。【見】</li> </ul>   |
| <p>○清書用紙に書いて仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ずっと記事を書いていると飽きちゃうな。」</li> <li>・「記事を書いた後、写真を貼ると、できたなって感じがするな。」</li> <li>◆「どんな工夫をしながら清書すればいいのか分からないな。」</li> <li>・「新聞見本の見出しの書き方をまねしてみよう。」</li> <li>・「イラストがあるのも見やすいね。」</li> <li>・「○○さんはそうやって写真を切ったんだね。」</li> <li>・「楽しい新聞になってきたよ」</li> </ul> | <p>30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★以下のような活動について、自分なりの手順で進めることとし、新聞を仕上げることについての意欲が持続するようにする。【動】</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わり付けを考える。</li> <li>・本文をていねいに書く。</li> <li>・見出しを工夫して書く。</li> <li>・写真を切ってはる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>★黒板に掲示する新聞見本は自由に見に来てよいことを伝える。【見、動】</li> <li>★他の児童の参考になるような表現、紙面の工夫などがあつたら紹介し、参考にできるようにする。【見】</li> <li>・丁寧な机間指導をし、賞賛したり具体的な支援をしたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(観察・発言)</p> <p>見やすく分かりやすい新聞になるよう、自分なりに工夫して新聞を仕上げている。</p> </div> |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「清書をして、新聞が仕上げられた」</li> <li>・「見出しの文字の色や大きさをよく考えた」</li> <li>・「自分なりにたくさん工夫ができた」</li> </ul>  | <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について、大事だと思ったことや気付いたことを書くよう促す。</li> </ul>   |

※2単位時間続きで計画をした。1単位時間ごとの休み時間には、自分の取組を振り返ったり、友達の新聞を見て参考にしたりするよう促すようにした。

## 単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作る。

## めあて

わりつけを考え、見出しや写真など

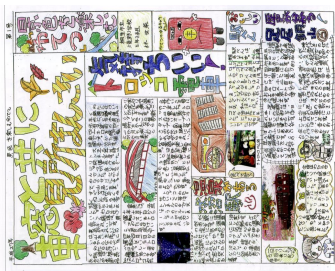
見やすい資料を入れて仕上げよう



## 活動の仕方

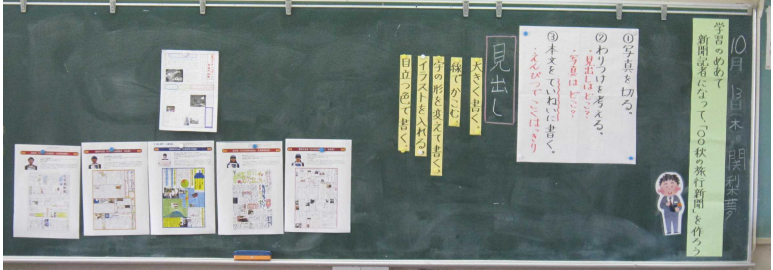
- わりつけを考える。
- 本文をていねいに書く。
  - ・読み直しながら書く。
  - ・なるべくこく、はつきり書く。
- 見出しを工夫して書く。
  - ・大きく書く。
  - ・線でかこむ。
  - ・文字の形を変える。
- 写真を切ってはる。

## (新聞見本の掲示)



ふりかえり

【第6・7時】 実践の様子から

| ○学習活動<br>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫  | 学級全体の様子<br>◎成果 △課題   | 抽出児童の様子<br>◎成果 △課題   |
|--|--|--|
| ○本時のめあてをつかむ。   |  |  |
| わりつけを考え、見出しや写真など見やすい資料を入れて仕上げよう  |  |  |
| <p>★活動の流れを示す際に、やること、使う物、注意すること、などを明示する。【見】</p> <p>★児童が取り入れやすい工夫のしてある新聞を見本として提示し、参考にできるようにする。</p>   |    | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="655 696 954 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コンクールで賞に入った小学生向けの新聞、教師自作の新聞など、見本の提示</p> </div> <div data-bbox="962 696 1214 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見出しを書く際のポイント</p> </div> <div data-bbox="1222 696 1431 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活動の流れの明示</p> </div> </div> |
| <p>○清書用紙に書いて仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わりつけを考える。<br/>(見出しや写真の場所)</li> <li>・本文をていねいに書く。</li> <li>・見出しを工夫して書く。</li> <li>・写真を切ってはる。</li> </ul> <p>★黒板に掲示する新聞見本は自由に見に来てよいことを伝える。【見、動】</p> | <p>◎大変集中して取り組んでいた。新聞見本を見たり、友達の様子を見たりして、参考にする児童も見られた。</p> <p>◎写真を切り貼ってから本文を書く児童、本文を書いてから写真を貼る児童など、自分なりの手順で仕上げを進めていた。</p> <p>◎自由な雰囲気があり、友達に自分の新聞を見せ、工夫したところを話す児童も多くいた。</p> | <p>A児</p> <p>◎写真を自由な形に切ることで、イメージを広げ、書く内容を膨らませることができた。下書きに書いていない記事も書くことができた。</p> <p>B児</p> <p>◎新聞見本に興味を示し、「見出しをまねしていいですか。」と質問していた。</p> <p>◎友達に「こんな風を書いてみたよ、いいでしょう。」と話しかけ、自分らしい新聞だと満足している様子だった。</p> <p>C児</p> <p>◎記事を清書する、写真を切って貼る、イラストを描くなど、自分なりの手順でどんどん書き進めていた。</p> <p>◎2枚仕上げ、とても満足そうだった。</p>  |
| <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>★「新聞作りの道シート」の拡大コピーを掲示し、全体のまとめとして活用する。</p>   | <p>◎本時の活動や学習したことについて振り返って書くことで、達成感を感じるとともに、次時への意欲を持つこともできた。</p>  | <p>◎ポイントが分かりやすい指示により、集中して聞くことができた。</p>   |

楽しそうな新聞だな。まねしてみよう。

その見出し、カラフルできれいだね。

そうか、こういう書き方もあるんだ。やってみよう。



写真をこんなふうに切ってみたよ。

ぼくもイラストを入れてみよう。

見出しや写真を工夫して、楽しい新聞ができたよ。

新聞が完成してとてもうれしい。

楽しく新聞作りができた。

みんなに読んでほしいな。

【第8時】 10/14 (金)

(1) ねらい

新聞を見せながら伝えたいことを発表し、お互いの新聞のよさに気づき、伝え合うことができる。

(2) 準備

児童：完成した新聞・「新聞作りの道シート」

教師：ワークシート・ワークシートの拡大コピー・相互評価カード・タイマー

(3) 展開

|  |   |
|--|---|
| <p>○学習活動</p> <p>・「 」予想する児童の意識</p> <p>◆「 」予想する抽出児童のつまずき</p>   | <p>時</p> <p>・支援及び、指導上の留意点</p> <p>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</p>   |
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>  |   |
| <p>新聞を見せながら、自分の伝えたいことを発表しよう</p>  |   |
| <p>・「新聞ができあがった」</p> <p>・「今日はみんなに発表するんだな」</p> <p>○これまでの新聞作りを振り返り、「分かりやすく読みやすい新聞」について確認する。</p> <p>◆「どんなポイントがあったかな」</p> <p>・「一つ一つ新聞記者の技を学習して書いたな」</p>               | <p>5</p> <p>・これまでの新聞作りの頑張りを賞賛し、今日は、学習のまとめとしてお互いの新聞を読み合うことを伝える。</p> <p>★「分かりやすく読みやすい新聞」について確認しながら掲示し、お互いの新聞のよさを探す際の観点にできるようにする。【見】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">見出し・・・伝えたいことがよく分かる。<br/>本文・・・正しく分かりやすい。<br/>写真やイラスト・・・文と合っていて分かりやすい。<br/>色や文字、わりつけ・・・見やすい。</p>   |
| <p>○発表原稿を書き、発表の練習をする。</p> <p>◆「どんな風に発表するといいのか分からないなあ」</p> <p>・「一番伝えたい記事を選ぶんだね」</p> <p>・「工夫したところやよくできたことはどこかな」</p>  | <p>5</p> <p>★発表原稿の型を示すことで、自分の考えをまとめ、発表しやすくなるようにする。【見】</p> <p>★ホワイトボードにワークシート（発表原稿）の拡大コピーを掲示し、書く場所や内容について確認することで、活動が分かりやすくなるようにする。【見】</p>  |
| <p>○新聞を見せながら、伝えたいことを発表し合う。</p> <p>◆「みんなの前だと恥ずかしいな」</p> <p>◆「ずっと聞いているのも飽きちゃう」</p> <p>◆「聞いているだけだとよく分からないな」</p> <p>・「みんな読みやすい新聞ができたな」</p> <p>・「○○君の新聞は、表現が面白いね」</p> | <p>20</p> <p>・1グループ4人程度のグループで発表するようにする。</p> <p>・発表する→聞き手は相互評価カードに記入する（発表者は振り返りを書く）→発表者に良かった点を伝えるという流れで行い、一人5分で行うこととする。【聞・話】</p> <p>★相互評価カードを配付し、評価の観点を確かめることで、聞く視点を持つことができるようにする。【見】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の新聞について、伝えたいことを発表している。<br/>友達の新聞について、そのよさに気付いている。<br/>(発表・ワークシート)</p> </div> |
| <p>○全体でいくつかの新聞を発表し、よさについてまとめる。</p>   | <p>5</p> <p>・新聞にまとめるよさ、伝えたいことをはっきりさせることの大切さについてまとめるようにする。</p>   |
| <p>○本時、及び単元全体の学習を振り返る。</p>   | <p>10</p> <p>・本時の学習について、大事だと思ったことや気付いたことを「新聞作りの道シート」の振り返り欄に書くよう促す。</p> <p>・単元全体の学習について、新聞作り全体で分かったことやできたこと、頑張ったことなどについて書くよう促す。</p>  |

## 単元のめあて

新聞記者になって「〇〇秋の旅行新聞」を作ろう



## めあて

新聞を見せながら、自分の伝えたいことを発表しよう

## 分かりやすく、読みやすい新聞

- 【見出し】伝えたいことがよく分かる
- 【本文】正しく分かりやすい
- 【写真やイラスト】文と合っていて分かりやすい
- 【色や文字・わりつけ】見やすい



## グループ発表会の仕方

- ① 一人の人が発表する。
  - ② 一人の人の新聞をよく読む。
  - ③ カードに書く。(発表した人は振り返りを書く。)
  - ④ よかったところや感想を一人の人に伝える。
- ⇐
- ① 二人の人が発表する。

## ふりかえり

# 「新聞記者になって、〇〇秋の旅行新聞を作ろう」

名前 ( )

「旅行新聞」で自分の伝えたいことを発表しよう

これから、ぼくの（私の）新聞を発表します。

最初に一番伝えたい記事を発表します。

※自分の新聞で、どの記事を伝えたいかを選び、新聞を見せながら読む。

次に工夫したところやよくできたところを発表します。

これで、ぼくの（私の）発表を終わりにします。

自分の発表が終わったら書こう。

★はつきりと自分の伝えたいことを発表できたか、ふりかえろう。

(相互評価カード)

「新聞記者になって、〇〇秋の旅行新聞を作ろう」  
名前 ( )

友だちの「旅行新聞」を読んで、よいところを見つけよう

※それぞれ、◎○△でチェックをしよう。  によかったところや感想を書こう。

| 名前<br><small>ポイント</small> | 見出しは、伝えたいことがよく分かるかな。 | 文は正しく分かりやすいかな。 | 写真やイラストは分かりやすいかな。 | 色や文字、わりつけは見やすいかな。 |
|---------------------------|----------------------|----------------|-------------------|-------------------|
|                           |                      |                |                   |                   |
|                           | よかったところ・感想など         |                |                   |                   |
|                           |                      |                |                   |                   |
|                           | よかったところ・感想など         |                |                   |                   |
|                           |                      |                |                   |                   |
|                           | よかったところ・感想など         |                |                   |                   |



「新聞記者になって、〇〇秋の旅行新聞を作ろう」

名前（ ）

学習を振り返ろう

★新聞作りで大事なことや、気をつけたことを書こう。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

★がんばったことやよくできたこと、感想を書こう。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

【第8時】 実践の様子から

| <p>○学習活動<br/>★見る、動く、友達に聞く・話すなどの工夫</p>   | <p>学級全体の様子<br/>◎成果 △課題</p>  | <p>抽出児童の様子<br/>◎成果 △課題</p>  |
|---|---|---|
| <p>○本時のめあてをつかむ。</p>   |   |   |
| <p>新聞を見せながら、自分の伝えたいことを発表しよう</p>   |   |   |
| <p>★これまでの新聞作りを振り返り、「分かりやすく、読みやすい新聞」について確認しながら掲示し、お互いの新聞のよさを探す際の観点にできるようにする。【見】</p>  |   | <p>◎ポイントが分かりやすい提示により、集中して聞くことができた。</p>  |
| <p>○発表原稿を書き、発表の練習をする。<br/>★発表原稿の型を示すことで、自分の考えをまとめ、発表しやすいようにする。【見】<br/>★ホワイトボードにワークシートの拡大コピーを掲示し、書く場所や内容について確認することで、分かりやすくなるようにする。【見】</p>  | <p>◎発表は「新聞の中で一番伝えたい記事を読む」「工夫したところやよくできたところを発表する」の2点とした。発表原稿の型があることでスムーズに取り組むことができた。<br/>◎導入で、「分かりやすく読みやすい新聞」について確認をしたことで、自分の新聞についても、その観点で書くことができる児童が多かった。<br/>◎書き終わった児童には、声に出して発表する練習をしていてよいことを伝えたため、集中が途切れることがなかった。</p>                  | <p>◎「ポイントが分かりやすい提示により、集中して聞くことができた。」</p> <p>◎「工夫したところやよくできたところを発表する」の2点とした。</p> <p>◎「分かりやすく読みやすい新聞」について確認をしたことで、自分の新聞についても、その観点で書くことができる児童が多かった。</p> <p>◎「書き終わった児童には、声に出して発表する練習をしていてよいことを伝えたため、集中が途切れることがなかった。」</p>  |
| <p>○新聞を見せながら、伝えたいことを発表し合う。</p> <p>★「グループ発表会の仕方」を掲示し、活動の流れが分かりやすいようにする。【見】</p> <p>★相互評価カードを配付し、評価の観点を確認することで、聞く視点を持つことができるようにする。【見】</p>  <p>見出しがとても分かりやすいね。</p> <p>見てきたことがくわしく書いてあるね。</p>  | <p>◎「分かりやすい見出しになるよう、よく考えたよ。」</p> <p>◎「写真の切り方やイラストを工夫しました。」</p> <p>◎「書いてあることが分かりやすい見出しを考えました。」</p> <p>◎相互評価カードは、観念に沿って◎○△を付けた後、自由に良かったところや感想を書くこととした。良かったところを積極的に書いて友達に伝える姿が見られた。</p> <p>◎自分の新聞を読んでもらい、友達にほめてもらうことで、うれしそうにしている児童が多かった。</p> | <p>A児<br/>◎発表が苦手だが、友達に新聞を持ってもらい、原稿をグループの友達に聞こえる声の大きさと読むことができた。</p> <p>B児・C児<br/>◎「ぼくらしくおもしろみを入れて書けた」と満足そうに発表していた。<br/>◎友達の新聞に興味深そうに読み、「面白い」「写真の貼り方が上手」など、自由記述欄にも気付いたことを書いていた。<br/>◎「面白いね」</p> <p>C児<br/>◎「2枚書けてすごいね」「イラストがいいね」など、良いところを伝えてもらい、うれしそうだった。</p> |
| <p>○本時、及び単元全体の学習を振り返る。<br/>★「新聞作りの道」シートの拡大コピーを掲示し、全体のまとめとして活用する。</p>  | <p>◎本時の活動や学習したことについて振り返って書くことで、達成感を感じるとともに、次時への意欲を持つこともできた。</p>   |   |

# 単元全体で取り入れる「授業の土台」



- 黒板周り等の整理
  - ・黒板周りの掲示物を必要最小限にし、黒板は授業のためだけに使えるようすっきりさせる。
- 分かりやすさに留意した指示
  - ・聞く時と活動する時を分け、聞く時には姿勢を正すようにする。
  - ・ポイントを短冊に書き見やすく提示する。
  - ・復唱する、指さしする、など指示を確認できるようにする。
- 活動の流れの明示
  - ・活動の前に、やること、使う物、注意すること、活動時間などの確認をする。
  - ・見本やワークシートの拡大コピーなどを提示する。
- 板書の工夫
  - ・本時のめあてや学習内容、活動の流れが見て分かるよう、整理して板書する。
- 学習計画シートの活用
  - ・単元全体について、1時間ごとのめあてや学習活動が分かるよう「新聞作りの道シート」を用意し活用する。
  - ・「新聞作りの道シート」に、学習計画に沿って毎時間の振り返りを書くことで、自分の取組や学習の積み上げを自覚できるようにする。

# 授業の土台

## 学習への参加を促すために



あっちの方がおもしろそうだな

となりの子が気になるな



気が散るなあ

今、何するのかな

- ・必要な情報を取捨選択することが苦手
- ・情報に注意を向け続けることが苦手
- ・音に対して過敏
- ・集中の持続が困難
- ・指示理解が困難

## 刺激への配慮

★児童の注意をそらしたり、大切な情報を分かりにくくしたりする余分な刺激（情報）を取り除く。

### ○視覚刺激

- ・黒板周りの掲示物を必要最小限にする。
- ・黒板は授業のためだけに使えるよう、すっきりさせる。
- ・棚などにはカーテンで目隠しをするとよい。

黒板が見やすいな



### ○聴覚刺激

- ・机や椅子の消音を工夫する。（テニスボールを付けるなど）

### ○机上の整理や学習用具の準備

- ・適切な情報量にする。
- ・必要な物だけを机に出し、必要のないものはしまっておく。

## 座席の配慮

★座席の工夫で、刺激の調整、指示や理解を助ける配慮をする。

### ○刺激の調整をする。

- ・話を聞くのが苦手な児童、指示が通りにくい児童、個別指導が必要な児童等、それぞれの特徴を考えて座席を配置する。
- ・お互いに刺激しやすい児童同士の座席を離す。

### ○指示や理解を助ける。

- ・モデルになる友達が近くにいる。

〇〇さんを見たら分かった



先生が近くて安心するな

聞いてたのに  
忘れちゃった



うっかり  
聞き逃しちゃった

- ・音声の気付きが困難
- ・音声の聞き取りや聞き分けが困難
- ・音声の選択的取り込みが困難
- ・聴覚的記憶が困難
- ・注意の持続が困難

## 分かりやすさに留意した指示

分かりやすいな  
できそうだな  
やってみよう

○聞きやすくなる工夫をする。

- ・聞く時と作業する時を分ける。
- ・聞く時の姿勢や態度を明示する。
- ・引きつけてから話す。

○分かりやすい指示を工夫する。

- ・1回の指示で一つの行動
- ・児童の分かる言葉を使う。
- ・児童が分からない言葉は視覚的な情報も入れる。
- ・やり方に名前を付ける。(やり方を頭に入れやすく、やり方を引き出しやすくなる)

「分かる」というのは、具体的な  
思考や行動に結び付くこと

○確認をする。

- ・指示内容や手順を全員で復唱させる。
- ・指さしをさせる。



先生が言っていることが  
分かりやすいな

## 活動の流れの明示

そんなふうによればいいんだね

○活動の前に、やること、使う物、注意することなどを確認する。

○活動時間を明確に示す。タイマーや曲などの利用も効果的である。

- ・「〇時まで」「～までできたら終わり」など、終わりが分かるようにする。

○見本やワークシートの拡大コピーなどを掲示する。

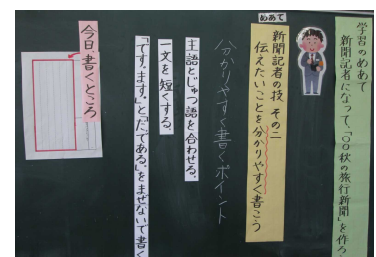
- ・活動のゴールや取り組む場所が分かるようにする。



## 板書の工夫

○本時のめあてや学習内容、活動の流れなどが見て分かるように整理する。

- ・大事なポイントは短冊などに書いておき、掲示する。



指示が消えない  
後からでも確認できる

どんな勉強をするのかな



この後どうなるのかな

- ・見通しの持てなさ
- ・興味・関心のムラ
- ・集中の持続が困難

## 学習計画シートの活用

### めあての明確化・焦点化

- 単元全体のめあてを明確にする。
- めあてに迫るための1時間ごとの学習内容を分析する。
- 児童の分かる言葉でめあてを提示する。

### 学習活動の精選

- 全員が参加できる導入を工夫する。
- 興味・関心の持てる教材、学習活動を考える。
- 児童の思考の流れを考え、学習活動を組み立てる。

楽しそうだ！  
できそうだ、やってみたい  
という気持ちを持たせていく。

楽しそう  
やってみたいな

### 学習計画シートの提示

- 児童に分かる表現で「単元のめあて」「1時間ごとのめあてや学習内容」を示す。

| 新聞記事   | ④写真や図など  | ④わかりつけ   | ④見出し   | ④空かきやすい文   | ④記事の決定   | 新聞作りのひみつ   |
|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> | <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> <p>「新聞記者の目線」</p> |

どんな学習をしていくのかが分かることで、  
見通しが持ちやすくなる。  
学習のゴールが分かり、意欲が持続できる。

どんな勉強をしていくのか、  
イメージができるよ

### 振り返りの積み上げ

- めあてに沿って振り返ることができるように学習計画シートに記入する欄を設ける。
- 学習の足跡を残せるようにする。

自分の頑張りが分かる。  
できたことや分かったことが自覚できる。



# 意欲的に学習するために

## 様々な感覚を生かした多様な学び方

4年国語科  
「見学したことを報告しよう」の実践から

考えて、って言われても・・・

?



合っているのかなあ、みんなと違うかな・・・

- ・抽象的な思考の苦手さ
- ・興味・関心のムラ
- ・自信のなさ
- ・分からないことでの意欲の低下

### 見る

- 見本や具体物を見る。
  - ・活動のゴールとなる見本を提示する。
  - ・写真やパンフレットなど具体物を用意する。
- 比較して見る。
  - ・気付いてほしい、考えてほしいと思う点に目を向けられるようにする。
  - ・同じところ、違うところが分かる。
- 友達の様子を見る。
  - ・より良い取組をまねする。
  - ・友達の様子を見て確認する。
- 観点を見て確認する。

あれをまねすればできそうだな



そっかあ、そうやればいいんだ



自分の考えや取組が可視化される。  
自分の考えを整理したり、再認識したりできる。

### 動く

- 活動を切り替える。
  - ・活動のねらいにより、座席を変えたり動いたりできるようにする。
  - ・自分で書き進める、友達と読み合う、先生に見てもらおうなどのコースを作り、自分で選択して動くようにする。
  - ・カードを用いることで、始めと終わりが分かりやすいようにする。
  - ・1枚できたら、先生や友達に見せる。
- 色ペンで囲んだり線を引いたりする。
- 付箋紙を貼る。
- はさみで切る、のりで貼る。
  - ・「書く」こととは違う活動があることで、違う考えや活動のきっかけになることも期待できる。

### 友達に聞く・話す

- 分からないことを質問する。
- 友達の考えを聞いて、取り入れる。
- 自分の考えを話す。
- ペアやグループの形態を取り入れることで、自由に交流できるようにする。

友達に話していたら、考えがまとまってきたよ。

なるほど。そっかあ。

